

ハザン・ドンヴァン 山岳民族を訪ねる旅

山のしあわせ。

撮影/西澤智子

山のあなたの空遠く

さいはひ
「幸」 住むと人のいふ。

カール・ブッセ作/上田敏訳 『海潮音』より

そびえ立つあの岩山のかなたには、いったい
どんな喜びがあるのだろうか。山に暮らす人
びとの幸福を訊ねる旅に出た。

※記事内記載の人口は、2009年
のベトナムの国勢調査に基づく



①脱穀は村人総出で行う ②一見ただの岩山
だが、頂上近くまでびっしりとトウモロコシ畑
が広がっている

「あなたのしあわせは
何ですか？」

天空の桃源郷、ハザンの旅

観光客であっても、外国人には入境許可証の取得が義務付けられている、辺境の山岳地帯ハザン (Ha Giang) 省。誰もが息を呑む雄大な山並みをドライブしながら沿道に住む山岳民族の暮らしを垣間見るツアーが、欧米人を中心に人気をよんでいる。ハノイから車で約6時間北上した、省都ハザンが旅の出発点。古都ドンヴァン (Dong Van) を経て、メオヴァック (Meo Vac) の町を目指すルートが一般的だ。サイクリングやツーリングを楽しむ旅人も多い。

山肌に張り付くように建つ小屋の軒先に下がる黄色いトウモロコシの房。自分の身体よりも大きな薪の束を背負い、踊るような足取りで山道を進む民族衣装の少女たち。わくわくした気持ちを全身からあふれさせた若者たちで賑わう山あいの青空市場。見る者全てを魅了する絵葉書のような光景の連続だ。

しかし、絶壁といってもいいような岩肌のわずかな耕地に種をまき、桶で毎日本水を運ぶ高地の生活が過酷でないはずがない。それでも彼らの瞳はいつも青い空を映し、満ち足りて見える。いざ、山のしあわせを探りに、ベトナム最後の秘境ハザンへ。

岩山の民
モン族 *Hmong*

囲炉裏端で差しつ差されつ

「こんな満ち足りた老後になるとは思ってもみなかったよ。身近に家族がいることが何よりの幸福さ」と、微笑むサウさん。息子も娘も近隣に住んでいるので、子どもや孫が誰かしらいつも遊びに来て、家の用事を買って出てくれることもあるという。



②



③

①この日訪ねてきたのは近所に住む男。裏で三男の嫁が蒸留作業中の酒をちよいと拝借し、酒盛りを開始 ②村1番の笛の名手ムア・ヴァン・サウ (Mua Van Sau) さん、65歳。6男4女の子宝に恵まれた ③サウさんと同居する六男夫婦

火を囲んで団欒タイム

モン族では末息子が家を継ぐ。サウさんも六男家族と同居中。他の子どもたちやその家族もしょっちゅう家を訪ねて来る。土間造りのモン族の家には必ず囲炉裏があり、調理場にもなれば、家族団欒の場や客をもてなす応接スペースにも使われる。パチパチとはぜる炎を囲みながら酒を酌み交わし、おしゃべりに花を咲かせる。ハザンの山岳エリアでも特に冷え込みの激しい高地に住むモン族にとって、囲炉裏は生活に欠かせない空間なのだ。



モン族の家々は、特に山深い土地に建っていることが多い



モン族概要

人口106万8189人。黒モンや花モンなど多くのサブグループがある。ハザン省に多いのは白モン族。

薔薇と酒でより豊かな生活

水環境が改善したこともあり、近年では薔薇や梨などを育てる家も増えてきた。蒸留酒作りも大切な現金収入源。近隣の市場で売り、帰りに屋台で友人たちと酒や料理をつつく。これも生活の大きい楽しみだ。

①義父が市場で売るための酒を造りに来た、同じ村に住む次男のお嫁さん ②数年前から始めた薔薇栽培。咲き頃をみはからって摘み、近隣の街へ卸す

主食はおひさま色のトウモロコシ

棚田を耕すことも適わない、岩肌続きの土地に住む彼らにとって、唯一栽培できる穀物がトウモロコシだ。かつては水場の近くに密集して住んでいたが、ベトナム政府の主導で200以上の貯水池が造成され、より険しい山中にも居住できるようになった。主食はもちろん粉にひいて蒸したトウモロコシ。スープをかけて食べるが、ちょっと贅沢したい日は野菜炒めや自家製おぼろ豆腐を付ける。



①



②

①その日食べる分のトウモロコシを石臼で挽くのは女性の役目 ②トウモロコシの粉を蒸したものに、魚醤ヌオックマム (Nuoc Mam) に漬けた唐辛子をお好みで添える ③モン族の家の2階は、トウモロコシ貯蔵庫として使われることがほとんど





彩りの民 ロロ族 *Lolo*

村に恵みの雨が 降ること

普段着はTシャツにジーンズという若い女性、ヴァンさんとズンさん。1年で最も幸福を感じるのは、雨乞い儀式的後に降る最初の雨だという。「今年も米が育ち、村にいいことがありそうだから」。民族衣装は着なくとも、村を思う気持ちは確かだ。

叶えたい夢がたくさん

大学進学を目指しているズンさん。「1度は他の街でも働いてみたいけど、結婚相手はロロ族がいいな」と、はにかみながら答えてくれた。一方、高校生のヴァンさんの夢は大きい。「女優になりたいの。だから都心の大学に進んで演劇を学ぶつもり」。結婚も民族にはこだわらないとか。「両親はロロ族と結婚してと言うけど、好きになった人を選ぶわ」。



華やかなパッチワークが施された民族衣装作りに余念のないズンさん。1式90万VND(約3350円)〜で売れ、進学のための資金になっている

カム・ティ・ヴァン (Cam Thi Van) さん、17歳 (写真左)、ルン・タイン・ズン (Lung Thanh Dung) さん、23歳 (写真右)。彼女たちの村のように、観光客が訪れると民族衣装に着替えてくれるところもある

集会所に残る伝統建築様式

ハザン観光の拠点のひとつであるメオヴァックは、人口の7割近くがロロ族という町。しかし生活様式は都市化が進んでおり、一見するとベトナムの他の街と変わらない。しかし少し郊外へ行くと、伝統的な建築様式の高床式木造家屋もある。特に、各種儀礼の会場となる村の集会所は、各村々が競うように伝統的で立派な建物を造る。



家の前は家庭菜園になっている。日々のおかずはここから採る



ロロ族概要

中国・雲南省に住むリス族やイ族、ナシ族などと近い関係にある。人口4541人。

米作りの民 ラーチー族 *La Chi* ご近所さんとの 賑やかな午後

カインさんの朝は4時に始まる。家族を田んぼへ送り出すと、裏庭での野菜作りや家事にと休む間もなく働き、午後は刺繍小物作り。近所の友人やその孫たちも遊びに来て、家の中は一気に賑やかに。穏やかなこの時間が何よりの安らぎだ。



ヴォン・ティ・カイン (Vuong Thi Canh) さん、50歳。夫と舅、長男との4人家族



集落では、田んぼの中に散らばるように家が建つ

家屋の補修も近隣と協力

ラーチー族の家屋は、壁と床が竹でできた高床式。細く裂いた竹を隙間を空けて並べるため風通しがよい。内部には開扉扉もあるが、夏でもさほど暑さを感じないほどだ。しかし、壁や床に使う竹にしろ、屋根を葺くレモンガラスにしろ、定期的な補修が欠かせない。カインさんも近所の主婦同士で協力し、お互いの家を修繕し合っている。



①2人ひと組で長い葉を編み合わせ、屋根を葺く束を作っていく ②ここ最近、高齢の舅は田んぼに出る代わりにザル作りに精を出している。器用な手つきで次々と仕上げている

豊かな米の恵みを享受

藍染めの民族衣装がシックなラーチー族。住んでいるのはハザン省では比較的平地であるため、米の二期作が可能だ。高地に住む民族に比べ暮らし向きに余裕がある。

1年は稲作を中心に回っており、最初の田植えと初収穫前の年2回、各家ごとに祖先を祀る祭礼を行う。水牛の角で作った器に入れた酒とご馳走を祭壇に備えた後、一族が集まっての宴会となる。



ラーチー族概要

中国に起源を持つザオ族やモン族に近い。祖先崇拝のほか、水牛や米などの精霊を信仰。人口1万3158人。

藍染の民 ザイ族 *Giay*

厄除け札で 不幸を防ぐ

「私たちには不幸を寄せ付けないお札があるからね」とカンさん。ザイ族では男女を問わず、37歳、49歳、61歳の3度、人によっては73歳を加えて4度、厄除けのお札を作るのだ。門や玄関先に飾られ、その家に災厄が入り込むのを防いでくれる。



上半身は民族衣装をほとんど着なくなったザイ族だが、藍染めの腰巻き作りは女性たちにとって、貴重な現金収入にもなる

一族が揃う日のために

カンさんは夫や義妹とともに伝統的な高床式家屋に、息子夫婦はブロック造りの家にと敷地内別居中。年1回の祖先崇拝儀礼の日には、一族が彼女の家に集まる。「木造家屋は維持が大変だけど、その日のためにも手入れは怠らないよ。」



ホアン・ティ・カン (Hoang Thi Can) さん、81歳

ザイ族概要

19世紀頃に中国から移住してきたといわれ、儀礼などで漢字を使う文化を持つ。人口5万7936人。

幸福の青い鳥は いつもすぐ足元に

品揃え豊富なスーパーも豪華なレストランもない。映画館や遊園地といった娯楽もない。けれどもみな、人生を楽しんでいた。手をのぼせば届く幸福を噛み締める術を知っているから。大切なものはすぐそこにある。それが山であっても里であっても。

紹介した以外にもたくさん民族が住むハザン省、旅行会社とじっくり相談し、訪ねる村をアレンジしてもらおう。数日に1度、市を開く村も多い。多様な民族衣装を見られ、買うこともできる。なお日本と同じで、むやみにカメラを向けるのは失礼にあたるので気をつけて。



①敷地の入口に看板のように掲げある ②庭のない家だと玄関の上に

日本の「厄年」と同じ?

お札には漢字を使った祝詞(のりと)のようなものが書かれており、「病」「凶」「吉」「星」「雷」といった文字が読み取れる。近隣のタイ(Tay)族でも同じ習慣が。日本の厄年の習慣と起源は同じとする説もある。



①煮したもち米を売る、緋身パンツァオ(Dao Quan Chet)族の女性たち ②藍ザイ(Dao Lan Ten)族が売るのは、手染めの藍染め布 ③彩りが華やかな白モン族。中国から輸入したプリント布を使用

【スケッチトラベル・アオサイツアーデスク / SKETCH TRAVEL AO DAI TOUR DESK】(0) p.25、88、162 ~ 163

①ハノイオフィス(04) 3944 9509 / 3944 9510、ホーチミン市オフィス(08) 3823 5405
www.sketch-travel.com/vietnam

かつて、モン族には長がいた ワン氏の邸宅

Dinh Thu Ho Vuong

かつてこの地域のモン族を束ねていたワン(Wang)氏の邸宅。1919年建築で、中国とフランス、モン族の建築様式がミックスされている。

③Sa Phin Village, Dong Van Dist., Ha Giang Province ④なし ⑤7:30 ~ 17:30 ⑥1万 VND (約40円)



自然の造形美にただただ驚嘆 マーピーレン峠

Deo Ma Pi Leng

ドンヴァンとメオヴァック間は、切り立った崖沿いの峠道が続く。道路状態は良いが、ガードレールのところどころに見受けられる事故の跡に肝が冷えること間違いなし。



ハザンの見所

文化遺産と自然景観の宝庫

この世のものとも思えぬ絶景がそこに

ヘヴンズゲイト

Cong Troi

ハザンから国道4C号線でクアンバを通り過ぎてすぐの「ヘヴンズゲイト」。素晴らしい眺めを堪能できる展望台だ。写真右手の2つの小山が通称「おっぱい山」/ Nui Doi だ。



土堀と苔むした瓦屋根が情緒を誘う

ドンヴァン旧市街

Pho Co Dong Van

①ドンヴァン旧市場の北側一帯には古民家が並ぶ。旧市街というより1本の通りで、世界遺産の候補にもあがっている ②1918年築の古民家を改装した「フォーコーカフェ」/ Pho Co Cafe。③Nguyen Trai St., Dong Van, Dong Van Dist., Ha Giang Province ④なし ⑤7:00 ~ 23:00 (0)23:00

個人宅訪問のお礼は?

一般の家庭を訪問する機会が多いハザン観光。写真を撮らせてもらったから、いくばくかの心づけをするのが一般的だ。ただしこれもケースバイケースなので、ガイドの判断を仰ごう。2万~5万 VND (約70~190円) ぐらいのことが多いが、10万 VND (約370円) 以上請求されるケースもある。

ハザン観光には入境許可証が必須

中国と国境を接するハザン省の観光には、公安の管理事務所が発行される入境許可証を取得しなければならない。その際、身分証明証を携帯したベトナム人が一緒に旅行することが求められる。トラブルを避けるためにも旅行会社を通し、ベトナム人ガイドを伴って観光するのが確実だ。申請に必要なのは、①パスポート、②パスポートのコピー、③申請料10US\$、④申請用紙(申請時に記入)。許可証は申請後すぐに発行される。

ハザン省公安出入境管理室 / Phong Quan Ly Xuat Nhap Canh Cong An Tinh Ha Giang

③Tran Quoc Toan St., Nguyen Trai Dist., Ha Giang, Ha Giang Province

④(0219) 387 5210 ⑤7:30 ~ 11:00 / 13:00 ~ 17:00 (0)16:30